

アールポート 組立・取付け説明書

取説番号 NM-531

梱包明細

名称	製品記号		内容明細
	W:3000	W:2700	
けた・棟木セット	CCRY50		けた.....2 棟木・押え材.....各6 中骨.....12 たて樋及び雨樋セット.....2 ●方づえ取付ひし形ボルト(M8×35).....16
柱セット	CCRP		柱.....4
たる木及び部品セット	CCRT30	CCRT27	たる木・たる木押え材.....各5 たる木取付ネジ(M5×16).....28 棟木・中骨取付ネジ(M5×16).....36 けた固定六角ボルト(M8×75,袋ナット,ワッシャー).....8 方づえ取付六角袋ナット(M8,ワッシャー).....16 方づえ取付六角ボルト(M8×45,ワッシャー).....16 押え材取付ネジ(M5×16).....114 アンカープレート.....4 アンカープレート取付ネジ(4×13).....16 後付ビード.....2 説明書.....1
妻たる木セット	CCRHT30	CCRHT27	妻たる木・妻たる木押え材.....各2 方づえ.....8 ウォッシャーキット.....1セット
屋根材	CCRA30	CCRA27	アクリル板.....6

上の梱包明細表により部材・部品をご確認ください。

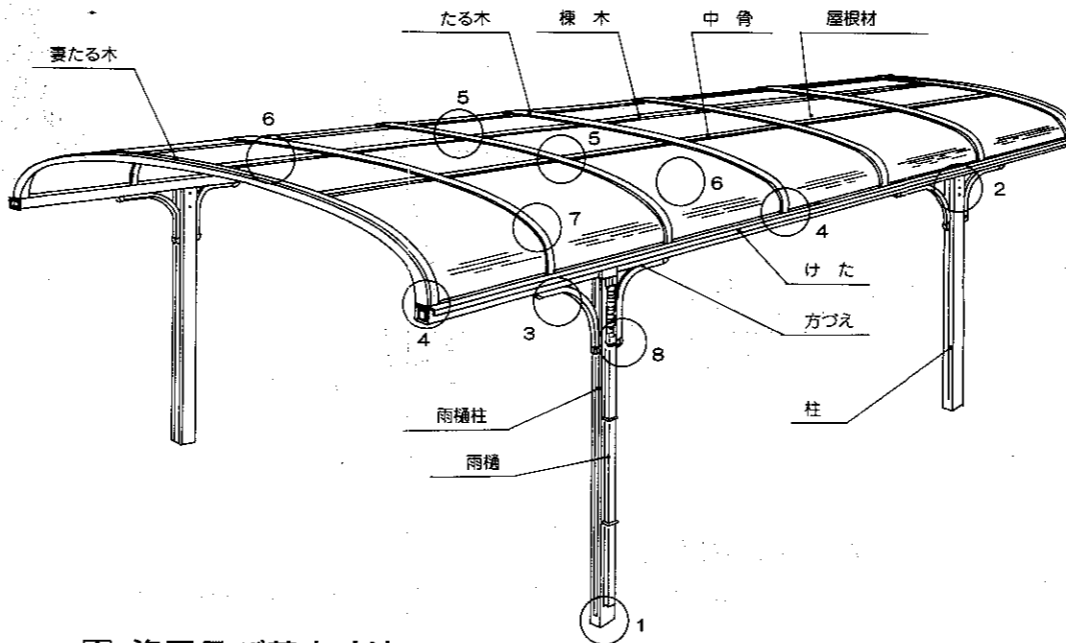
- 屋根材は各2セット必要です。
- 別売品に関してはカタログをご参照下さい。

工事店様へのお願い

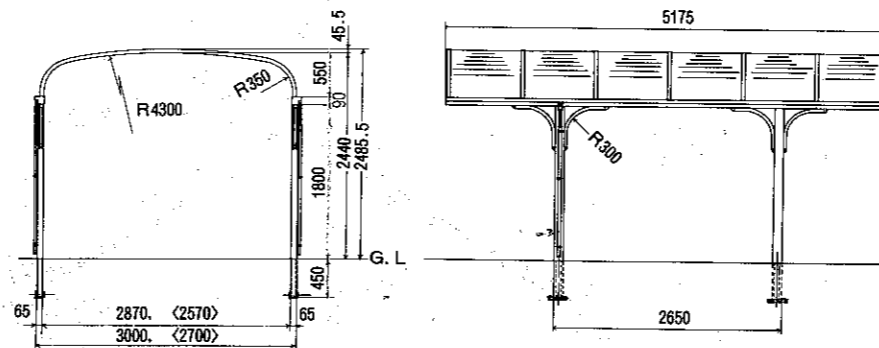
- 新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を、十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意して下さい。
 - (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用して下さい。
 - (2) モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意して下さい。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
 - (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用して下さい。
 - (4) 施行時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃して下さい。また、表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意して下さい。
 - (5) アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにして下さい。
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をして下さい。
 - (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生して下さい。
- 積雪地域での施工は避けて下さい。
- みだりに改造等の仕様変更は避けて下さい。
- 施工終了後、説明書は施主様へお渡し下さい。

施主様へのお願い

- 積雪が10cmを超えましたら必ず雪おろしをして下さい。
- 絶対に屋根の上に乗らないで下さい。
- 屋根材にはアクリル板を使用しています。清掃の時は、水洗いして下さい。なお汚れがひどい時は、中性洗剤を使用し、その他の薬品は使用しないで下さい。
- この商品には、清掃用具(ウォッシャーキット)が付いています。取扱い説明書をご覧の上ご使用下さい。



姿図及び基本寸法



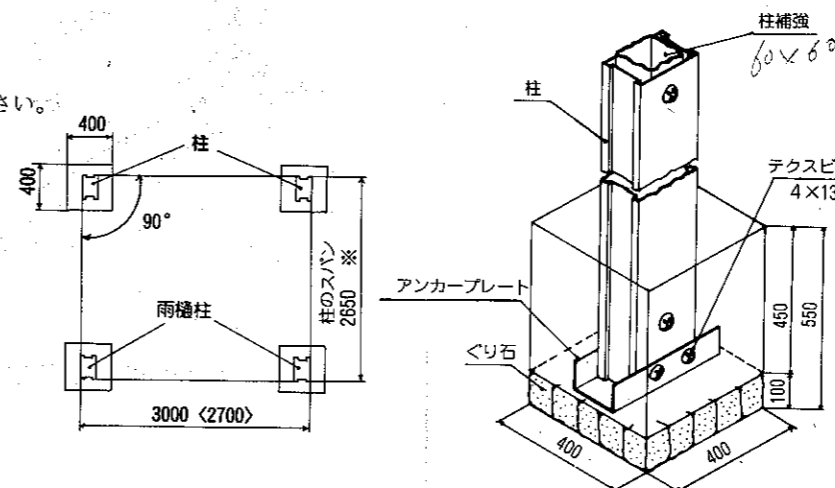
組立工具

ボックスレンチ、電気ドライバー⊕をご用意下さい。

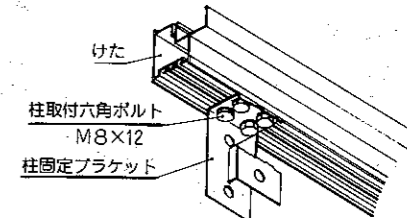
取付順序

1. 柱の施工

- 柱にアンカープレートを取付けて下さい。
- 設置場所の柱位置を確認して下さい。
- 標準施工時の寸法(右図参照)
柱のスパン及び柱の垂直には気を付けて施工して下さい。



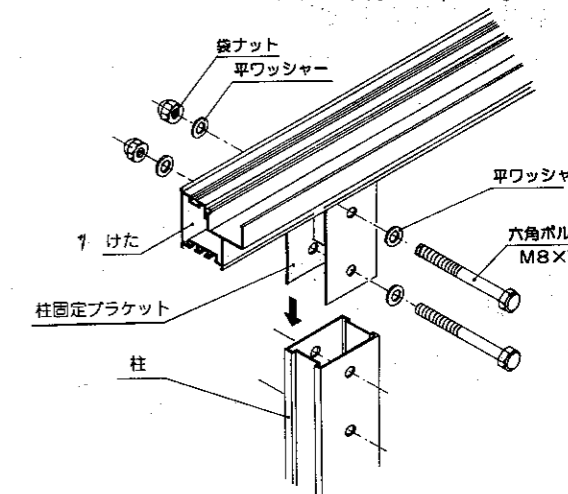
- 柱を移動する場合
調整範囲
柱はけた端部から1700mm以内。
雨樋柱は±350mm以内。
調整方法
ボックスレンチで柱固定ブラケットのボルトをゆるめブラケットを任意の位置に固定します。



- コンクリート施工は骨組完了後にいきます。

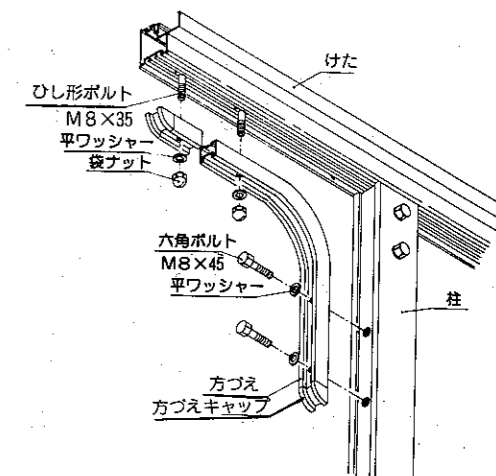
2. けたの取付

- けたには雨樋取付孔があいていますので、その位置に雨樋柱を取付けて下さい。



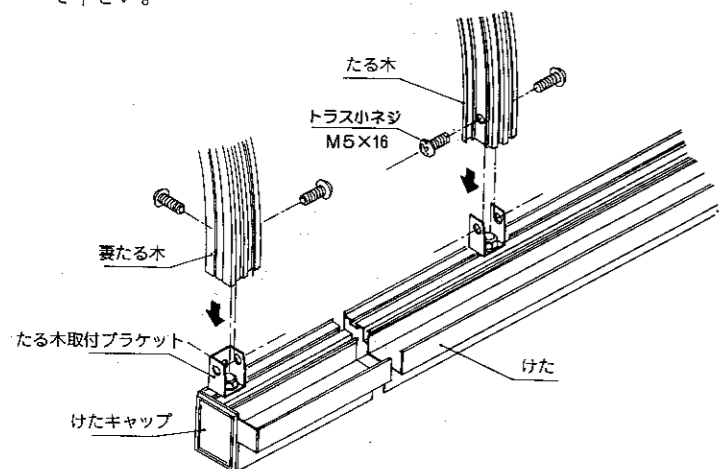
3. 方づえの取付

- 手順
 - (1) けたにひし形ボルトを差し込み、六角袋ナットで仮止めして下さい。
 - (2) 柱に六角ボルトで固定して下さい。
 - (3) 六角袋ナットを締め込んで下さい。



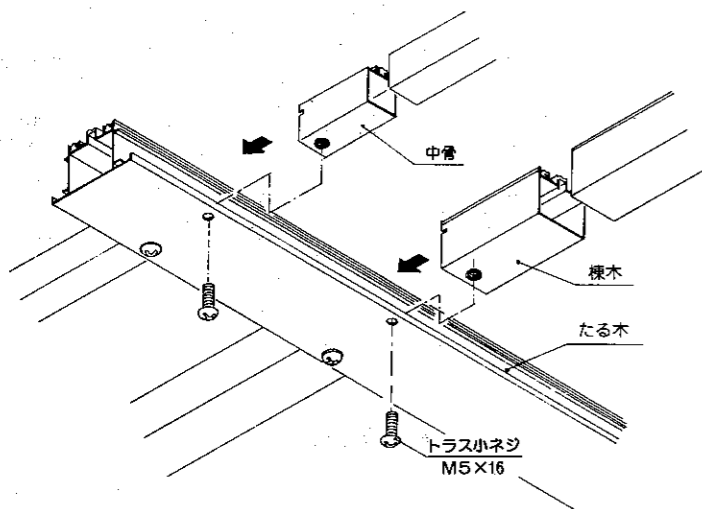
4. 妻たる木・たる木の取付

- 取付は妻たる木→たる木→中骨
→棟木の順で1スパン毎に行っ
て下さい。

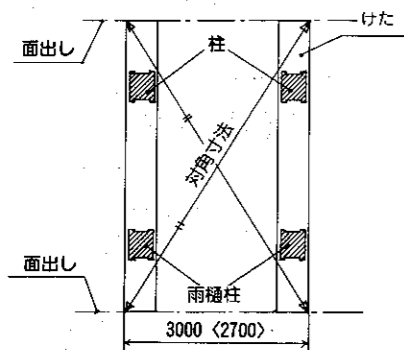


5. 棟木・中骨の取付

- 取付の際、たる木と棟木・中骨のはめ合いを完全にして下さい。



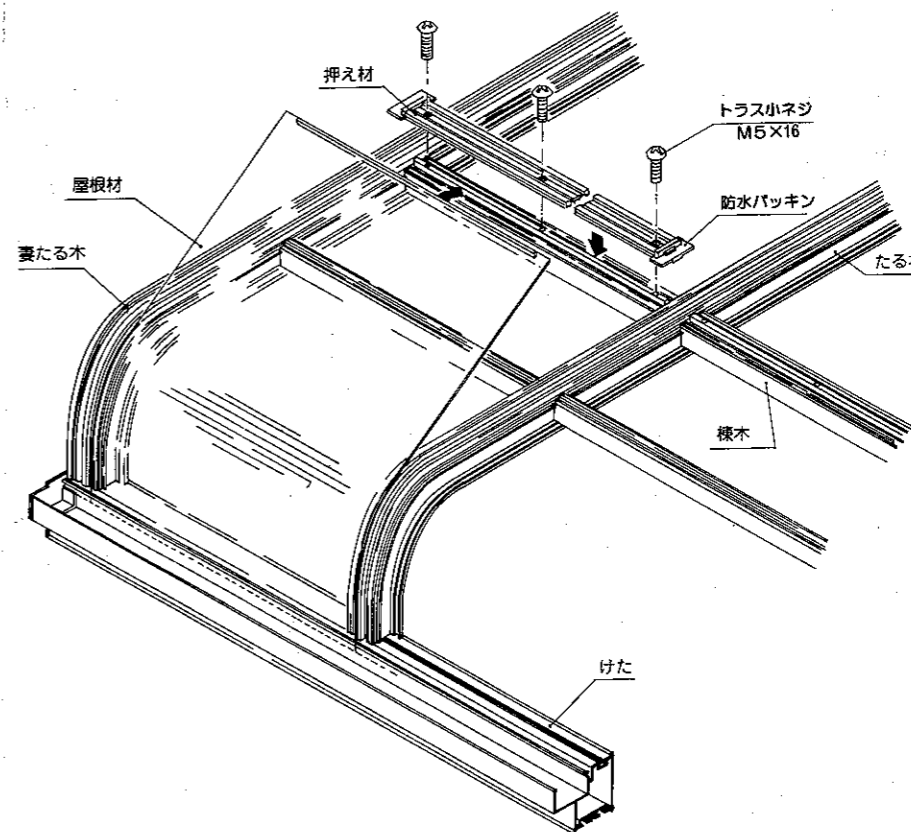
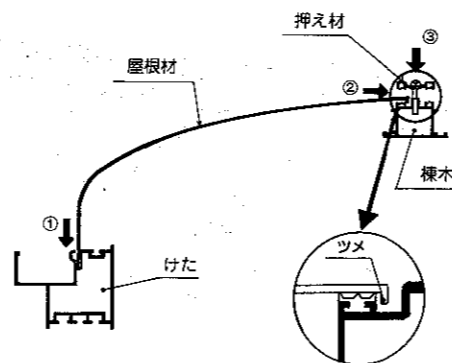
- 骨組完了後、けたの端部の面出しをして下さい。
対角寸法に狂いがないようにします。



- 水平・垂直を確認の上コンクリート施工して下さい。

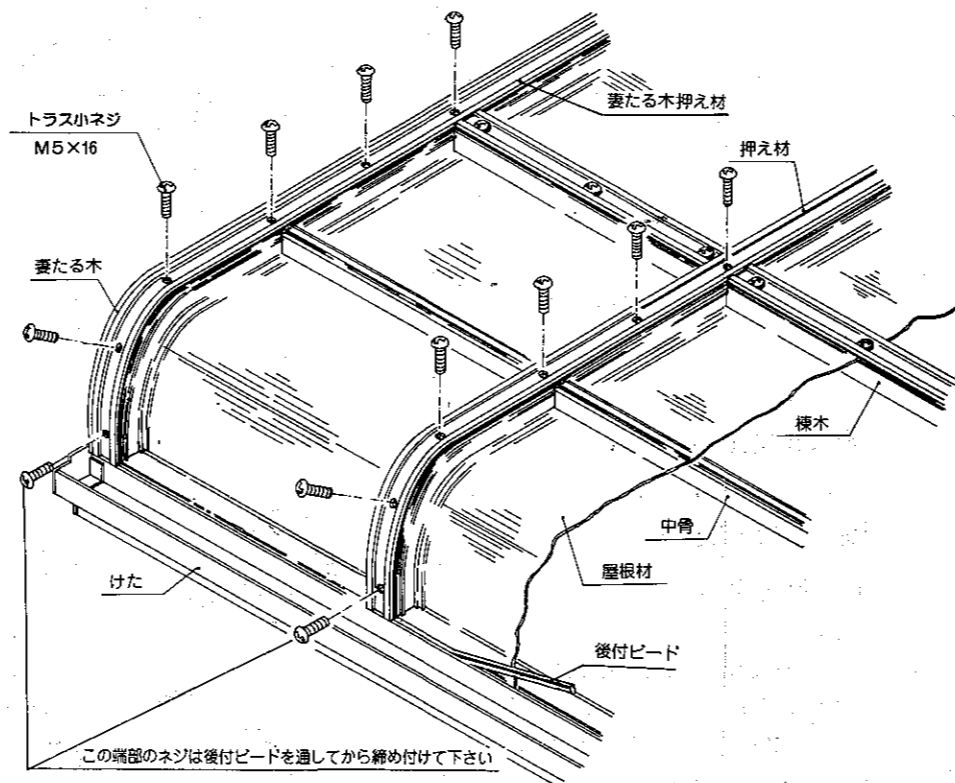
6. 屋根材の取付

- 手順
 - (1) 屋根材は裏側のマスキングシート
(表側のマスキングシートは施工完
了後)をはがして、けたの溝に差し
込み、ツメを棟木にかけます。
このとき、屋根材が両側のたる木
の先付ビードに均等に乗るように注
意して下さい。
 - (2) 対面の屋根材も同様に行い、押え
材で固定して下さい。



7. 押え材の取付

- 妻たる木押え材は他の押え材と同一形状ですが、片側に先付ビード
がありませんので注意して下さい。
- 押え材は中央より順に端へ固定して行きます。
- けたの溝に差し込んだ屋根材は後付
ビードを通して押えて下さい。



この端部のネジは後付ビードを通してから締め付けて下さい

8. 雨樋の取付

